

経営比較分析表（平成30年度決算）

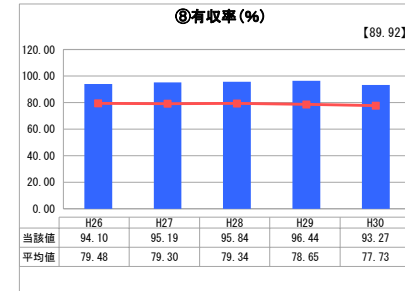
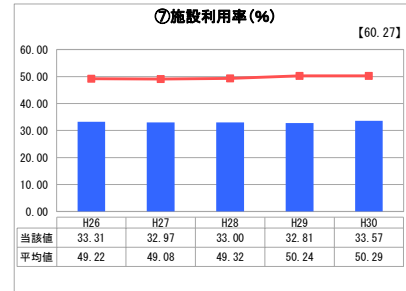
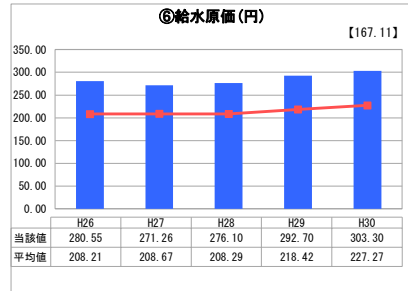
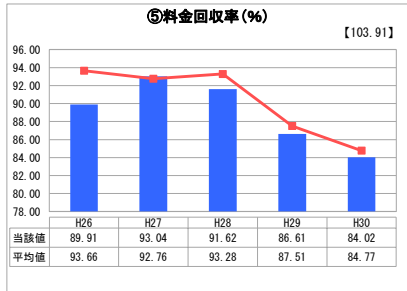
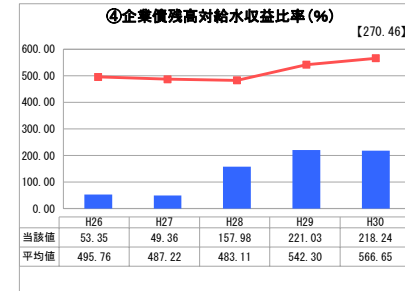
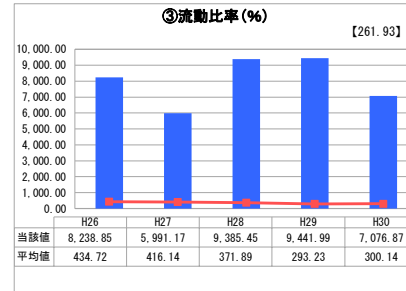
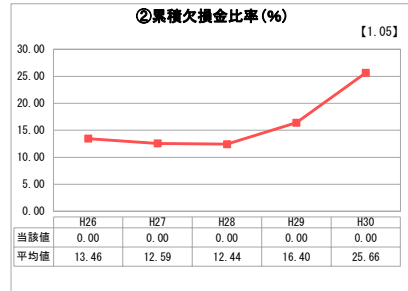
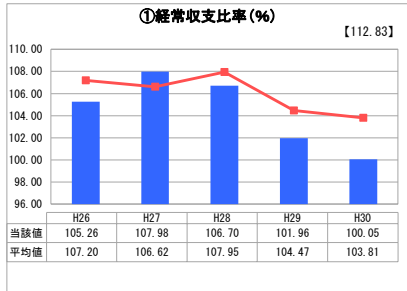
千葉県 御宿町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A8	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家産料金(円)	
-	87.01	97.50	4,644	

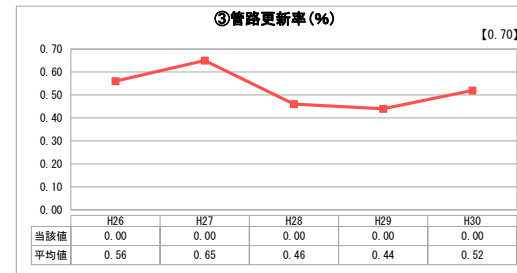
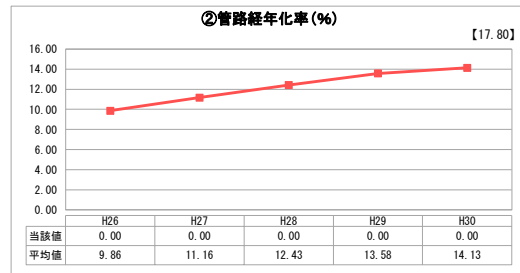
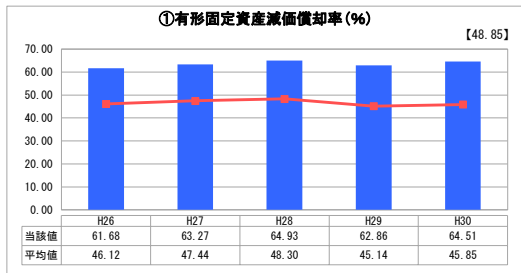
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
7,528	24.85	302.94
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
7,317	24.92	293.62

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	平成30年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率については、具補助金や一般会計からの繰入金などにより、平成25年度から黒字を維持しており、平成30年度は156千円の黒字となりましたが、来年度は大規模修繕事業が控えており経常損失を見込まれます。

また、経年劣化の進行による修繕費の増加や各種義務的経費の通増などから、経常費用が増加し、前年度よりさらに経常収支比率を押し下げています。

今後については、修繕費や建設改良費の増加が見込まれることや、大規模事業を実施した平成29年度より大きく上昇した企業債残高対給水収益比率が示すとおり企業償元利償還額が増加したことから、経常費用増大が見込まれるため、引き続き、事業内容の精査による営業費用の縮減と、徴収体制強化による給水収益の向上に努め、慎重な運営により経営の健全性を確保していきます。

有収率については、平成30年は漏水の増加により前年度より数値が下がったものの、平均値と比較し高い水準であることから、この水準を今後も維持すべく、効率的かつ健全な事業運営に取り組んで参ります。

2. 老朽化の状況について

事業開始当初に竣工した施設について、40年経過していることから老朽化が顕著であり、給水管だけでなく配水管からの漏水や鉛給水管交換など、修繕費や更新工事等の維持管理費用の増加が見込まれています。

また、沿岸部の制水弁において塩害による不具合が見られることから、平成30年度に作成した制水弁更新計画に基づき、順次、制水弁更新を実施する必要があります。

毎年増加する維持管理に要する財源確保と事業合理化の実施による、健全な経営への努力が今後の課題と認識しています。

水道施設機能診断更新計画に基づき、効率的な施設更新工事を実施し、収支バランスをとりながら、健全な水道事業を運営して参ります。

全体総括

老朽化の進行した施設の維持管理に、各計画に基づき適切に取り組む、安定した水供給に取り組むとともに、経営合理化による経費縮減など、健全な経営の維持に努めます。

事業費については、今後増加する維持管理費による将来負担に備え、将来負担に対する財源基盤構築と、他会計との整合を踏まえたうえで、計画的かつ適正な予算計上を行い、収支バランスの安定化に努め、将来負担水準の適正化と経営基盤の安定に引き続き、取り組んで参ります。